

放置里山を除伐し鳥獣被害防止に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：海田町

取組のきっかけ・経緯

・以前から人間の生活圏近くまで樹木が生い茂り、鳥獣の住処や隠れ家になり夜間に住宅地等に鳥獣が出没するようになっていた。

今後の展開

・周囲にはまだ住宅地域の近くまで樹木が迫った地域があり、今後も引き続き伐採を実施していく。

取組の内容

- ・事業主体：海田町
- ・実施場所：海田町石原地内
- ・業務委託先：田川緑地建設株式会社
- ・業務量：0.08ha
- ・業務金額：1,573千円
- ・業務期間：令和5年1月14日～3月17日

取組後の感想

【良かった点】

・鳥獣の隠れ家となる森林を伐採することによって住民の居住する地域への鳥獣の侵入が減少することが期待できる。

【整備後】



【整備後】

